

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 明日のたね		
事業名	環境学習活動を通じて学校、家庭、地域等の社会力を育むための「環境学習と社会力」フォーラムの開催		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発進！未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	459, 489 円
		うち助成金額	450, 000 円



200冊配布
関係団体48か所へ
市町教育委員会、学
校関係、社会福祉協
議会、児童館等

主催：「子どもと社会力」フォーラム実行委員会(主催・事務局/NPO法人明日のたね) 後援：山形県庄内総合支庁、山形県教育委員会、鶴岡市・同教育委員会、酒田市・同教育委員会、庄内町・同教育委員会、遊佐町・同教育委員会、三川町・同教育委員会、山形新聞・山形放送、庄内日報
協力：ドリームやまがた里山プロジェクト(参加24団体)、NPO法人ヤマガタワン
お問合せ：NPO法人明日のたね(〒999-7621 鶴岡市長沼字宮前163 TEL: 0235-64-8623)

■ 事業目的

環境問題と我々の日常生活や経済活動との関係について理解を深めるために、学校・家庭・地域・職場など様々な場での「環境学習」活動は重要な意味を持つ。しかし、これら各セクターの環境学習に対する姿勢や理解度は必ずしも同一ではなく、その効果が発揮できていないケースも多い。そこで各セクターの現状を「社会力」という視点でとらえ、この社会力向上のための方策を探ることを目的として、「環境学習と社会力」フォーラムを開催する。

■ 実施内容

フォーラムの開催とデジタルアーカイブ発行

テーマ：「新しい子育てのカタチ～子どもと大人の社会力育てが学校と地域を救う～」

- ・基調講演：門脇厚司氏(前つくば市教育長、筑波大学名誉教授、元日本教育社会学会会長)
- ・事例発表及びフリートーク：
NPO 法人家根合生態系保全活動センター／鶴岡市立大山小学校
／NPO 法人明日のたね

講師・地域・学校との調整やチラシ

の配布等が終了し、開催直前だったが、庄内管内で新型コロナ感染者が多く発生したため、急遽中止を決定した。その後、事業期間中開催に向けて検討を重ねたが、コロナ禍収束のめどが立たないことから、事業目的を達成するためのほかの手法に切り替えた。→変更)「環境学習と社会力」小冊子とデジタルアーカイブ発行

講師及び事例発表者におかれてはすでに発表内容を取りまとめたことから、講師、発表者の了承を得て、取材を通してそれら内容を再編し、小冊子とデジタルアーカイブとして公開することとした。小冊子については実行委員会構成団体を通じて関係機関に配布することとし、またデジタルアーカイブについては、フォーラム参加申込者はじめ各協力団体サイトを通じて広く周知することとした。

■ 事業の成果及び今後の展望

環境保全活動によって育んできた家庭の力、地域の力、学校教育の力を「社会力」という視点で捉え教育社会学研究の第一人者から、

助言をいただくことで、これまでの活動を検証するきっかけとなった。小冊子及びデジタルアーカイブを通じて、各団体の活動内容を知ることができた。

小冊子200冊
関係団体48か所へ配布

小冊子の感想「大変興味深く、特に夏休みこども大学(楽)※に手伝いますと声を上げてくれた男の子のエピソードや大人が子どもにどう関わっていくべきか参考にさせていただきます」等多くの反響があった。

※夏休みこども大学(楽)は当法人が長期休みに行く自然体験を中心とした小学生対象の事業です。詳しくは当法人 HP をご覧ください。
→<https://tomotane.com/>

